

2026年（令和8年）1月22日

資料提供先：岡山県政記者クラブ、笠岡市記者クラブ

かさおか かさおかひがし みなみ  
笠岡バイパス 笠岡東IC～カブト南IC（延長2.8km）が  
令和8年4月5日（日）に開通します！

かさおか くらしきふくやま  
○笠岡バイパスは、高規格道路倉敷福山道路の一部を構成し、岡山西部地域の交通渋滞の緩和、交通安全の確保及び社会・経済活動を支援を目的とした玉島・笠岡道路と一体となって整備を進めている自動車専用道路です。

かさおかひがし みなみ  
○この度、笠岡東IC～カブト南IC間（延長2.8km）が令和8年4月5日（日）に開通することになりましたので、お知らせします。

○今回の開通により期待される主な効果は、以下のとおりです。

■今回開通により期待される主な効果

- かさおか  
① 観光ツアーの立ち寄り先となる道の駅「笠岡ベイファーム」へのアクセス性が向上  
② 周辺生活道路への通過交通が抑制され、地域の安全性が向上  
③ 全線開通を見据えた企業立地が進展

○開通に先立ち、新たに設けるインターチェンジ（IC）の名称を正式に決定しましたので、あわせてお知らせします。

■インターチェンジ（IC）名称

決定した インターチェンジ（IC）名称	所在地	これまで使用していた インターチェンジ（IC）名称（仮称）
かさおかひがし 笠岡東IC	かさおか にしおおしまんでん 笠岡市西大島新田	かさおかひがし 笠岡東IC
みなみ カブト南IC	かさおか みなみ 笠岡市カブト南町	しんかさおかこうひがし 新笠岡港東IC

開通式および通行が可能となる時間については、詳細が決まり次第、あらためてお知らせします。

＜問い合わせ先＞

国土交通省 中国地方整備局 岡山国道事務所



副所長（改築） 谷本 尚久（たにもと なおひさ）

【工事担当】工務課長 岸本 達彦（きしもと たつひこ）

【広報担当】計画課長 片岡 宏仁（かたおか こうじ）

岡山国道事務所HP

電話：【工務課直通】086-214-2309 【計画課直通】086-214-2310

※本記者発表資料は、岡山国道事務所ホームページ（<http://www.cgr.mlit.go.jp/okakoku/>）に掲載しています。

※岡山国道事務所ではホームページのほかX、Youtube、Instagramにおいても情報発信しております。  
各コンテンツには2次元バーコードからアクセスできます。

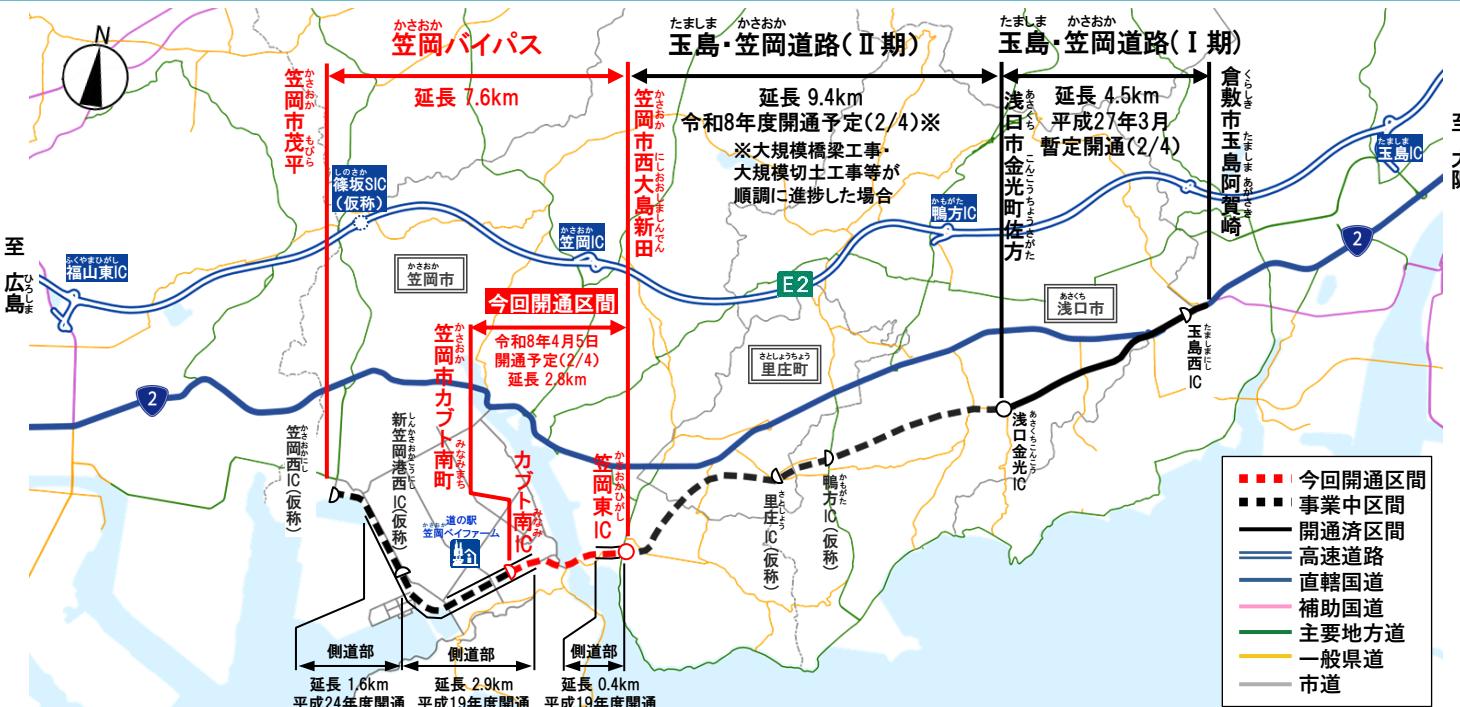


# 笠岡バイパスの事業概要

- 笠岡バイパスは、高規格道路倉敷福山道路の一部を構成し、岡山県西部地域の交通渋滞の緩和、交通安全の確保及び社会・経済活動を支援を目的とした自動車専用道路です。
- 平成27年3月に玉島・笠岡道路(Ⅰ期)の玉島西IC～浅口金光IC間(延長4.5km)が開通しています。
- 今回、笠岡バイパスの笠岡東IC～カブト南IC間(2.8km)が開通します。

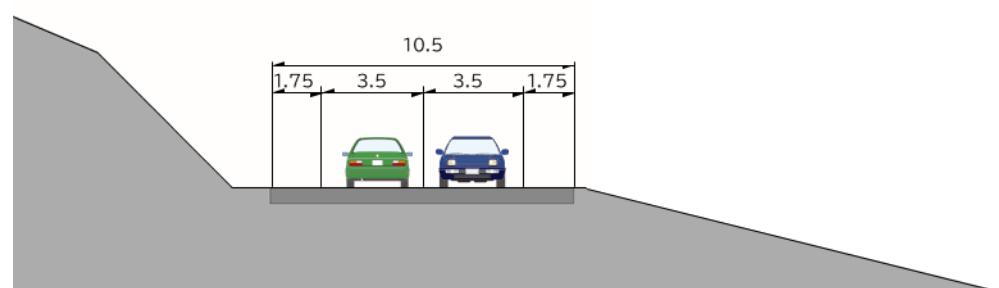
## 計画概要

### 《広域図》



- 今回開通区間
- 事業中区間
- 開通済区間
- 高速道路
- 直轄国道
- 補助国道
- 主要地方道
- 一般県道
- 市道

## 断面図

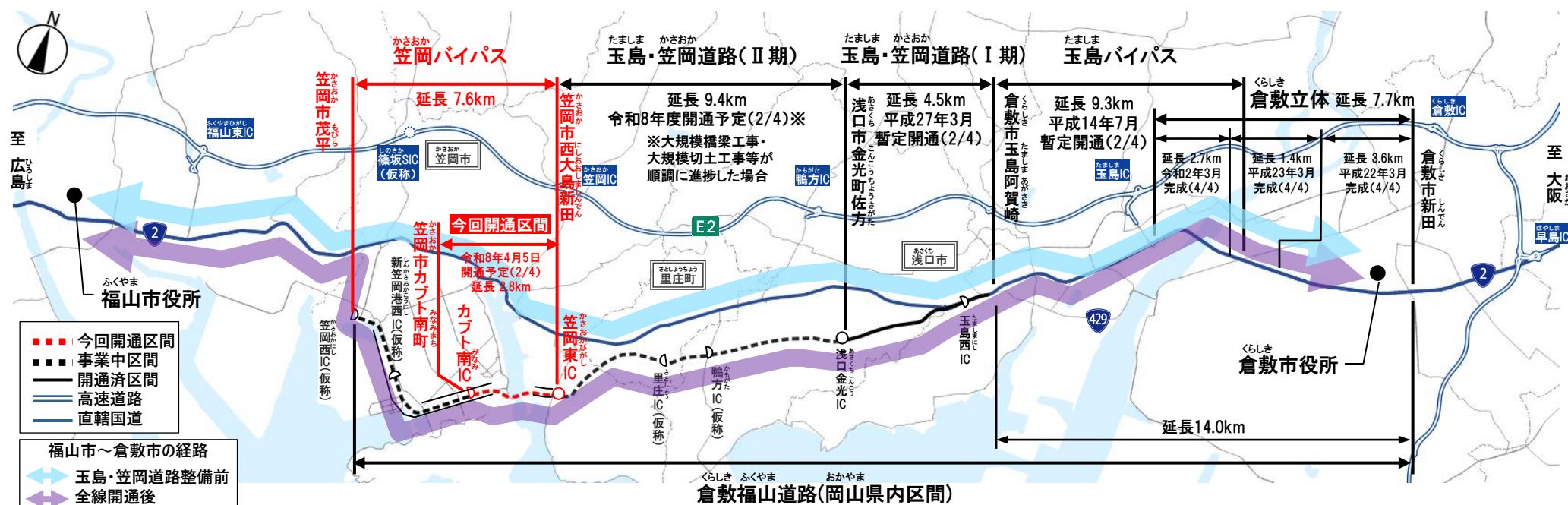


(単位:m)

## 事業の経緯

事業着手	昭和63年度
用地着手	平成2年度
工事着手	平成10年度

# 【参考】倉敷福山道路としての整備が段階的に進展(岡山県側のネットワーク)



## ネットワークの整備状況（整備延長）



- 玉島バイパス、倉敷立体、玉島・笠岡道路(Ⅰ期)、玉島・笠岡道路(Ⅱ期)、笠岡バイパスの事業延長( )は総延長に対する整備後延長の比率
- 整備なしの玉島バイパス以東は2車線開通済みの状態での算出を行っている。
- 各段階開通済み区間を通過するルートで分析を行っている。

## ネットワーク延伸による所要時間短縮効果



- 所要時間: 平成22年度全国道路・街路交通情勢調査 混雑時旅行速度  
玉島・笠岡道路、笠岡バイパスは60km/hを使用
- 各段階開通済み区間を通過するルートで分析を行っている。

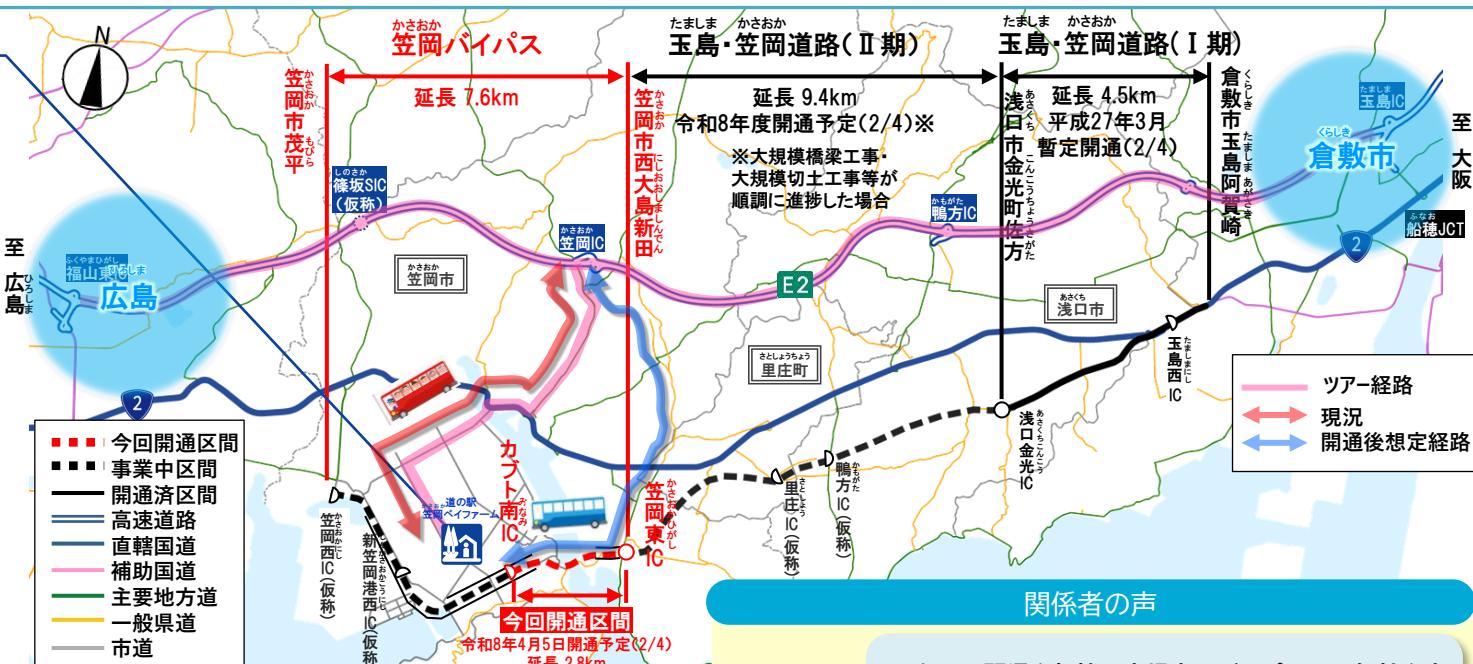
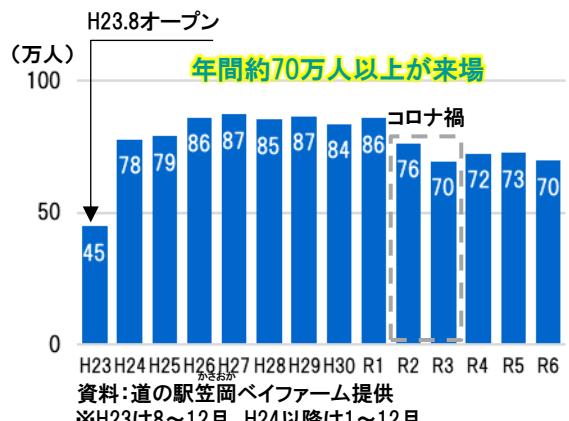
# ①観光ツアーの立ち寄り先となる道の駅へのアクセス性が向上

○カブト南ICに近接する道の駅「笠岡ベイファーム」は岡山県内屈指の集客力を誇り、季節ごとの花畠景観などを目的に、観光ツアーの立ち寄り先としても利用されている施設です。

○今回の開通により、当該施設へのアクセスがより円滑となり、来訪者の安全で分かりやすい利用環境の確保につながります。



道の駅 笠岡ベイファームの来場者数



- 笠岡ベイファームの花畠は中四国で人気があり、広島を発着する岡山・倉敷方面へのバスツアーの立ち寄り地となっています。
  - 全線開通により時間短縮が進み、山陰や四国方面発着の新しいツアー企画も可能になると考えています。
- 令和7年12月 ヒアリング調査 3

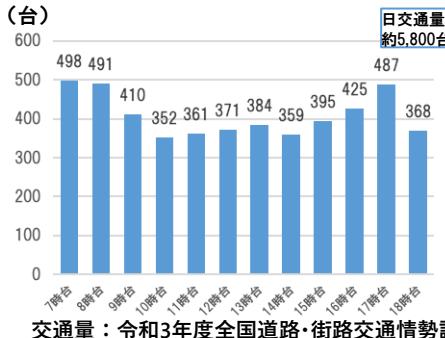
## ②周辺生活道路への通過交通が抑制され、地域の安全性が向上

○これまで周辺の生活道路を通行していた車両の一部がバイパスとなる今回開通区間に転換し、歩行者や自転車が利用する道路環境の安全性向上が期待されます。

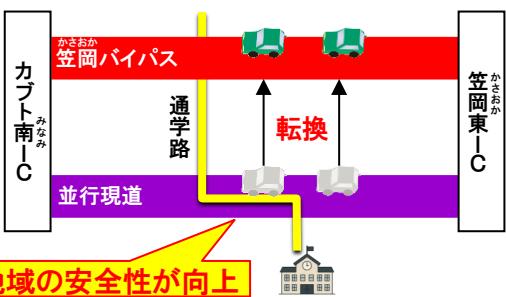
○並行現道沿線地区の生活道路における交通環境の改善や通学路の安全性の向上に寄与します。



### ■並行現道の交通量（笠岡バイパス側道部）（台）



### 期待される効果（交通転換による安全性向上）



### 地域の声

- 通学路に指定されている並行区間は、日中を通じて交通量が多く、歩行者を巻き込む事故が懸念され、交通安全に関する指導や取り組みを徹底しています。
- バイパス整備による交通転換に伴い、現道の交通量が減少することで、地域の安全性向上に期待しています。



神内小学校



道路利用者

令和7年12月 ヒアリング調査

- 並行現道は学校の通学路を担っており登下校時は歩行者・自転車も多いためドライバーは注意が必要です。
- バイパスは自動車専用道路のため、歩車分離により地域の安全性が高まると思います。

令和7年12月 ヒアリング調査 4

### ③全線開通を見据えた企業立地が進展

- 笠岡バイパスおよび玉島・笠岡道路の段階的な整備が進む中で、将来の全線開通による交通利便性向上を見据え、周辺地域では企業の立地が進んでいます。

- 今回の開通は、こうした動きを支える交通基盤整備が着実に進んでおり、地域の動きを後押ししています。



#### ■笠岡港（港町地区）工業用地



写真：令和5年5月撮影

#### 地域の声

- 企業誘致は長期的な視点で進めることと、機を逃さないことが重要です。
- 引き続き、企業ニーズに適切に対応し、広域交通の利便性を生かした企業立地を推進します。



笠岡市

#### 笠岡市

- 工業用地の整備
  - ・笠岡港（港町地区）工業用地が分譲完了し、工業用地が不足
  - ・笠岡バイパス周辺の土地利用として、民間活力を利用した工業用地等の造成により用地確保を推進
- 企業誘致
  - ・進出済みの大手企業を核とした関連会社等の集積や誘致を図る

#### 浅口市

- 鴨方ICの整備効果を最大限活かし、浅口市の賑わいを創出し、秩序ある開発を促進するため、IC周辺において土地利用計画を策定



出典：国道2号玉島・笠岡道路鴨方IC(仮称)周辺  
土地利用計画(令和7年3月)をもとに作成

令和7年12月 ヒアリング調査



笠岡港工業用地に立地する物流事業者

- バイパス整備が進んでいることから、販路拡大や岡山市方面への輸送が非常に有利になると判断し、物流センターを新設しました。
- 全線開通後は、さらなる顧客の獲得や、雇用拡大を目指します。

令和7年12月 ヒアリング調査